



真木会だより

Vol. 32
2019 春号

病院理念

みんな仲良く
医療で奉仕誰にも親切
笑顔で応対

せんだんの木

ホームページアドレス：http://www.makikai.jp/

“人口オナス”って、何でしょう？

真木病院 在宅・患者支援部 堀 越 悟



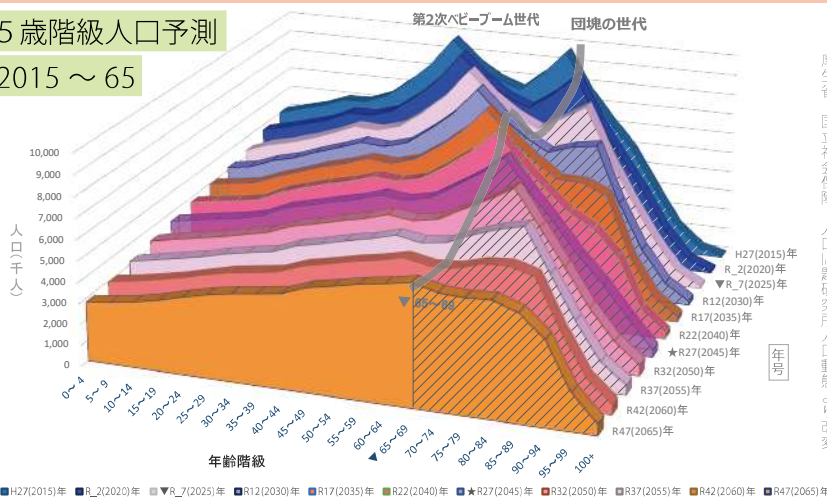
医療需要から見た日本の疾病構造は、時代とともに変遷してきました。今から半世紀以上前は、感染症と闘う多産多死社会でした。高齢になるほど徐々に人口が減少し、また戦争に駆り出された男子の兵士の戦死者が多く出たため、この部分の人口が少なくなっていました。戦後のベビーブーム(団塊の世代)の人口急増が目立っています。1970年代に訪れた第2次ベビーブームが次の人口のピークをもたらしています。しかし、バブルが崩壊した90年代以後日本の経済成長の純化が影響して、第3次以後のベビーブームは訪れていません。

その後、日本の疾病構造は感染症から脳血管疾患、癌、高血圧などのいわゆる“成人病”あるいは生活習慣病が主流になってきました。更に、“超”高齢化社会が訪れて、団塊の世代が後期高齢者になる2025年問題が控えています。これは、脳機能の低下を来す認知症の発症患者数が増加し、その人々の医療・介護さらには看取りのための社会資源の不足の大きな問題として浮かび上がって来ているところです。

令和年代を迎える現時点では、認知症の発症を抑える治療法は残念ながら発見されていません。将来認知症を発症する日本人は700～800万人と言われていて、大きな社会問題です。更に、2040年には第2次ベビーブーム世代が65歳以上の年金受給世代に入ります。すると、その親の世代を養う事が出来ない、親を養う稼ぎが出来なくなるのです。しかも、親の年代は90歳以上で、ほぼ全員が何らかの認知症を発症し、この年代の死亡は年間1割以上となり、多死社会になります。

5歳階級人口予測

2015～65



このような人口、社会情勢の変化を見据えた医療・介護の準備を今から始めておかねばならないでしょう。病院のベッドや検査機器、外来機能などを誰にどの様に使って頂けるか今のうちに予測を立てて、準備してゆく必要があると思われます。

※人口オナスの答えは 180° 反転、逆さまにして下部を見てください。

“人口オナス”は、生産年齢人口の減少により、社会全体の稼ぎ高が減少し、その分が減少する事と捉えられます。



木村 知恵里Dr プロフィール

1973年（昭和48年）埼玉県本庄市生まれ

1999年（平成11年）群馬大学医学部卒

趣味：音楽鑑賞（主にクラシック）ゴルフ、整理整頓

好きなもの：卵、果物（いちご、さくらんぼ、すいか、みかん）

チョコレート、ぐんまちゃん、新幹線、路線バス

苦手なもの：セロリ、パセリ、ニンニク、生のネギ類、たばこ

飛行機、観光バス

座右の銘：「雲外蒼天」

ごあいさつ

3月から真木病院の一員になりました。「内科」を担当していますが、3年前まで「心臓血管外科」が専門でしたので、心臓や血管の病気（循環器疾患）については少し深く皆さまのお役に立てるかと思います。

大きな病院で心臓や血管の手術ばかりしてきた10数年間、いつも“予防”と“早期発見”の重要性を痛感していました。心臓や血管の病気にかかってしまうと命がけの大がかりな治療が必要になることや、治療をしても以前の元気が戻らなくなってしまうことは少なからずあります。手術が成功しても『こんな大変なことになるなら、きちんと検診を受けたり薬を忘れずに飲んでおけばよかった...』と後悔する患者さんは何人もいましたし、私自身は『もっと早く手術できていたら、もっと上手くいったのに...』と思いながら執刀したこともたくさんあります。一方で、大きな手術や治療を乗り切ったにもかかわらず、再発予防のために注意されたことを守れず悪化してしまった患者さんもいます。こんな時、医師として本当に残念でとても悔しかった気持ちを今でも忘れられません。また高齢で他の病気がいくつもあり体力もないために手術をすることは難しい患者さんが年々増加し、そうした方々が大病院から離れて自宅や地域の病院・介護施設でこういった治療や生活をされているのか分からないままになってしまうことも気になっていました。

超高齢化社会や社会保障費の膨張などが心配される今の世の中では、健康なまま長生きをする“健康寿命”を伸ばすことが国をあげての大きな目標であり、私たち医療従事者の役割は病気の“治療”だけでなく“予防”にも重点がおかれます。そして、病院以外でも体調管理について考え、体にも心にも良いことを実践するためのサポートも求められます。例えば、高血圧症・糖尿病・高コレステロールなどの“生活習慣病”は心臓病だけでなく脳卒中や一部のがんの原因であり、食事習慣の改善・禁煙・適度な運動・減量などちょっとした日常生活の心がけが“予防”であり“治療”になるのですが、正確な情報や心がけの方法が一般の方々にうまく伝わっていないと感じています。私はこれから、真木病院で患者さんを治療するだけでなく、健康管理や健康教育にも貢献できるように頑張りたいと思っています。



PET-CT装置が新しくなりました

PET-CT装置の入れ替えが行われ、2月18日より稼働しています。同時にPETの薬品を製造するサイクロトロン^{※1}の更新も行われました。今回はこの新しいPET-CT装置について御紹介します。

今回導入された新しいPET-CT装置は、従来のものと比較して大きく3つの点で優れています。第一に、画質の向上です。以前では小さすぎて判断が難しかった病変をよりはっきりと画像化することができるようになりました。これにより診断精度が著しく向上しました。第二に、低投与量です。検査の際に投与する放射性医薬品の量が以前の4/5になりました。その結果、薬品による被ばくが減り、体にとって優しい検査となりました。第三に、収集時間の短縮です。かつては約16分かかっていたPETの収集時間が、新たに導入された装置では約8分となりました。撮影時間が1/2になったことで、特にじっとしていることが苦手な方の負担が大きく減りました。以前の装置でも検査を受けたことがある方からは、検査時間の短縮について驚きの声をいただいております。

当院では保険診療だけでなく検診でもPET-CT検査を受けられます。この機会に一度検査をお受けになってみてはいかがでしょうか？

※サイクロトロンについて

多くの施設ではPETの薬品は製薬会社からデリバリーによって調達していますが、当院ではサイクロトロンを使用して薬品を製造しています。これにより、安価で薬品を提供できることから、PET検診の低価格化を実現しています。

(放射線科 小坂橋)

診断画像共有システムの運用を開始しました

当院では昨年より群馬大学が開発した診断画像共有システムの運用を開始しました。このシステムはCTやMRI、PETなどの診断に関わる画像を複数の医療機関で共有することを目的としたもので、専用サーバーに保存した画像がインターネットを通じ必要な施設で閲覧可能になります。これにより、今まで郵送や手渡しで行っていた画像の共有をネットワークで行うことができるようになり、医療機関・患者様双方の負担が減ります。例えば、検査のみを御紹介いただいた患者様の場合、検査終了後にそのまま御紹介先に足を運んでいただき結果を聞くことが可能になります。また、地域を限定せずに効率的な情報共有が可能となったことから救急患者様への対応が迅速化されます。

現在当院では高崎総合医療センターとのネットワーク共有を行っていますが、今後他医療機関との共有が進めば、よりワイドで強い病院間の連携が期待されます。

真木病院診療案内

平成31年 4月1日

診療科目		曜日	月	火	水	木	金	土
午前	内科	永尾	木村	笠原	小浜 木村（1・3・5）	永尾	堀越（10：00～）	木村（1・3・5）
		五十嵐				藍原（2・4）		
	外科 消化器外科	尾形	真木	小高	尾形	真木	尾形（1） 志村（2・4） 群大（3・5）	
		齊藤		真木		齊藤	塚越（3）	
	整形外科	篠崎	久保井（1・3・5） 田鹿（2・4）	斉藤 健	篠崎	篠崎	群大	
	専門外来	松井 （泌尿器）		福田 （循環器）	川崎 （胆膵）	佐藤 （炎症性腸疾患）	堀越（10：00～） 内科（脳・神経）（1.2.4.5）	
真木（禁煙）								
和田 （内視鏡）								
高崎総合医療センター（4） （乳腺）								
午後	内科	山岸	永尾	木村	山岸	相澤		
	外科	栗山（群大）	新木（群大）	齊藤	久保（群大）	尾形		
	専門外来	矢島 （乳腺）	小浜 （糖尿病）		和田 （2・4） （内視鏡）	尾形（血管外科）		
					齊藤 秀 （1・3・5） （肝臓）	沼尻（呼吸器外科）		
						相澤（呼吸器内科）		
					藤井（乳腺）			

ドック・健診センターからお知らせ

オプション検査の追加

- 基本コースに追加できるオプション検査にアレルギー検査が加わりました。

アレルギー検査 (採血検査)

8,400 円 (税抜)



アレルギーを引き起こす原因のアレルゲンは人によって様々です。また、アレルギーの原因は1つとは限らず、複数のアレルゲンが原因になることもあります。

食品表示義務7品目を含む、アレルギー性疾患の主要な39種類のアレルギーの原因物質 (吸入系19項目・食餌系20項目) が調べられます。

アレルギー検査を希望される方は受付・スタッフまでご相談下さい。

人間ドック1泊2日コースの宿泊先のご案内

7月から12月 (予定) までの間、グランビュー高崎様が改装に伴いご利用いただけません。

この期間のご宿泊先はホテルココ・グラン高崎様をご利用いただきます。

平成30年度 OPE 件数

* 骨折手術	85
* 皮下皮膚腫瘍摘出術	68
* 軟部腫瘍摘出術	54
* 人工関節置換術(膝・股)	4
* 整形その他	65
* 胃悪性腫瘍手術	開 腹 11 鏡視下 1
* 大腸悪性腫瘍手術	開 腹 11 鏡視下 1
* 虫垂炎手術	開 腹 2 鏡視下 7
* 胆のう摘出術(胆石、胆のうポリープ)	開腹 9
* 鏡視下	39
* ヘルニア手術	22
* 肛門疾患手術	10
* 下肢静脈瘤手術	10
* 外科その他	76
* EMR 内視鏡的粘膜切除術 (ポリープ切除術を含む)	395
* ESD 内視鏡的粘膜下層剥離術	170
* DBE 小腸内視鏡	22

発行：医療法人 真木会 真木病院 真木 武志

編集：真木会広報委員会

医療法人 真木会 真木病院

TEL.027-361-8411

〒370-0075 群馬県高崎市筑縄町71-1



真木病院 外来棟

TEL.027 370 3010 (外来受付) TEL.027-363-8558 (人間ドック 健康診断)

〒370-0801 群馬県高崎市上並榎町187